

サザエさん



わたしは九州の福岡市に住んでいます。わたしの家のすぐ近くに西南学院大学があります。西南学院大学はキリスト教の教団が経営する大学です。その大学の図書館の前にこんな像があります。マンガの主人公のサザエさん（右）と、そのマンガの作者（左）が仲良くおしゃべりしている像です。

図書館の前の通りは、サザエさん通りと呼ばれています。サザエさんの作者の長谷がわまち^{はせ}こ川町子さんが、この通りの近くに住んでいたのです。サザエさん通りは東京にもあります。東京に引っ越した長谷川町子さんの



家の近所の通りです。マンガの主人公の名前が通りの名前になっているのは、日本ではほかにはないと思います★。世界でも珍しいのではないのでしょうか。

マンガ「サザエさん」は、1946年に福岡の新聞のマンガとして始まりました。それから東京の新聞のマンガになり、1974年に終わるまで約6500回もつづきま

した。1969年にはテレビのアニメ「サザエさん」が始まり、2021年現在でもまだつづいています。世界で一番長くつづいているアニメ番組として、ギネスの世界記録になっています。

「サザエさん」は中流のサラリーマン家庭の主婦です。自分の両親の波平^{なみへい}さん、フネさんと同居しているので、弟のカツオや妹のワカメもいっしょに住んでいます。サザエさんと夫のマスオさんの子どもはタラオちゃんです。登場人物の名前がみんな「海」につながっているのが分かりましたか？ サザエ（貝の名前）、波（海の波）平、フネ（船）、カツオ（魚の名前）、ワカメ（海草の名前）、マス（魚の名前）オ、タラ（魚の名前）オというわけです。作者の長谷川町子さんの家が海岸にあったからでしょうね。

「サザエさん」では、こうした登場人物の日常生活が描かれます。マンガ「サザエさん」は、日本の敗戦（1945年）直後から、1960年代の経済の高度成長期を経た1974年まで、毎日少しずつその時代の生活風景を描いています。そのため、社会学者の樋口^{ひぐちけいこ}恵子さんは、「マンガのサザエさんは、日本の戦後の社会史の貴重な資料です」と高く評価しています。

マンガやアニメで、どうしてこんなに「サザエさん一家」は日本人々に愛されているのでしょうか？ みなさんもアニメ「サザエさん」やマンガ「サザエさん」を見て、考えてみませんか。

★「波平通り」という商店街が大阪市にあるようです。もともとの名前が「波平

通り」だったのですが、1970年頃にサザエさんのお父さんの「波平」の顔を宣伝のために使うようになったそうです。

(1024字)

(2021.11 Written by Masami KADOKURA)

<参考資料>

- ・「サザエさん」ウェブサイト

<http://www.sazaesan.jp/>

- ・福岡市の「サザエさん通り」について

「早良区彩食健美の玉手箱」ウェブサイト「サザエさん通り」

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/sawaraku/sawaraku-tamatebako/kankou/sazaesan/index.html>

- ・東京都の「サザエさん通り」について

「エンジョイ！ SETAGAYA」ウェブサイト「サザエさん通り」

<https://www.kanko-setagaya.jp/?p=we-page-entry&spot=209550&cat=16306&pageno=3>

(2022.1.31 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.